

## 全国の「新老人の会」に集う皆さん

2020年7月18日

「新老人の会」全国連絡会 代表 小山和作  
副代表 植村研一 吉田修 三木哲郎

本日7月18日は、3年前の2017年の今日、敬愛してやまない日野原重明先生がお亡くなりになった命日です。心からご冥福をお祈りすると共に、先生への感謝の言葉をあらためて申し述べたいと思います。

ところで、本年1月から始まった新型コロナウイルス感染症がここまで広がるとは想像もしていませんでした。瞬く間に世界中に拡大しその感染者は1380万人（7月16日現在）、更に拡大の勢いは止まりそうもありません。我が国でも感染確認者は2万4千名超、一時収まるかに見えたのも束の間、今再び増加に転じ、不安と恐怖が広がっています。かといって経済の破綻は見過ごすことは出来ず世界中が今混乱の中にあります。

このコロナ禍のさなかに日本列島を異常気象が襲いました。各地に大雨を降らし、豪雨は多くの河川を氾濫させ人家や農地を飲み込み、甚大な被害をもたらしました。被災された方々はコロナ感染予防にも注意し、更に来る夏の暑熱に、熱中症にも気を使い、大変なご苦勞を掛けています。それらの方々に心からお見舞い申します。会員の皆さんのお国は大丈夫でしょうか。

こういった中ですから、会の活動もままならず、ほとんどがやむなく休止せざるを得なかったと思います。私どもの全国連絡会でも全国の世話人の方々とお会いして情報交換をし、いい知恵をもらいながらこれからの会の運営も考えていかねばと考えていましたが、かないませんでした。会では東京のお世話でホームページを開いていますので、色々な情報をぜひお寄せください。

多くの会員はこれまでの人生の中で、戦争を含めて苦難の道を歩いて来られた方たちです。あの息も付けないほどに負けて終戦、日本中が焦土と化し、食べるに食なく、住むに家なく、悲惨という言葉では言い尽くせない苦難の中から這い上がり経済大国にまでなった日本、それを成し遂げたのは「新老人の会」の会員の世代です。これまでの経験や知恵を、私欲から離れ、自信を持って語り世の為人の為に尽くしましょう。「新老人の会」の出番だと思います。

日野原先生は10年物の手帳をもって、計画を立てておられました。100歳の時に次のスタートラインと言って夢を描いておられました。しかし、その夢は自分だけで成就するとは限らない、夢は繋いでいくものだと話しておられました。今こそ私たちは先生の夢を私たちの夢として継承していかなばなりません。ボウとしてはおれませんぞ。